

2021年度まちづくりネットモニター第12回調査結果 テーマ「郡山市の緑について」



郡山市では、都市緑地法第4条に基づき、緑地の適正な保全、緑化の推進を総合的かつ計画的に実施するために「郡山市緑の基本計画(2021年度～2030年度)」を策定しました。

この度は本計画を推進するにあたり、多くの市民の皆さまから「郡山市の緑」(※)についての意見をお伺いするため、アンケートを実施いたしましたので、その結果についてお知らせします。

※ここで言う「緑」とは、樹木や草花といった植物だけでなく、山林・河川などの自然環境、農地・公園・街路樹などの人工的な緑、さらに、民有地の庭や花壇等の身近にある緑も含まれます。

(公園緑地課)

【調査概要】

- 調査期間 令和3年11月19日(金)～11月28日(日) 10日間
- 回答方法 専用ウェブサイトから回答を返信
- モニター数 360名 (男性164名 女性196名)
- 回答者数 324名 (男性150名 女性174名)
- 回答率 90.0%

【分析】

《回答者内訳》

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
女性	3	11	35	61	43	17	3	1	174
男性	3	4	14	28	35	14	41	11	150
合計	6	15	49	89	78	31	44	12	324

《緑の現状について》

- ・緑に対し、92.9%が「関心がある」または「やや関心がある」と回答した。(問1)
- ・10年前と比較した緑の量の変化について、41.0%が「変わらない」と回答し、「やや減った」または「減った」は35.2%、「増えた」または「やや増えた」は8.3%であった。(問3)

《公園について》

- ・公園の利用頻度について、28.1%が「ほとんど利用しない」と回答した。(問7)
- ・公園を利用する理由として、「散歩、散策」(39.9%)が最も多く、「子どもをあそぼせるため」33.5%が次いで多い。また公園を利用しない理由として、「利用するきっかけ、時間がない」56.0%が最も多い。(問10、問11)

《今後の緑の方針について》

- ・市が実施する取組みに望むこととして、「公園・街路樹等の適切な維持管理」64.2%が最も多く、市民が実践している(または今後実践したい)取組みとして「自宅の緑化」62.0%が最も多い。(問18、問22)

【考察】

・緑への関心度については、「関心がある」「やや関心がある」が9割を超えており、多くの市民が高い関心を寄せている。一方で、緑に関して実践している(実践したい)取組みはないと回答した方も2割強おり、市が行う緑化支援策の更なる周知や、気軽に参加できるイベントの開催など、市民参加を促す取組みが必要がある。

・10年前と比較した緑の量は、「変化なし」、または、「減少した」との回答が多かったものの、現状の緑の質について、肯定的な回答(満足、やや満足、適正の合計)の割合が6割を超えており、郡山市の緑はおおむね良好であると考えられる。一方で、田畑の大幅な減少や公園・街路樹の管理不足等が指摘されていることから、今後、緑の保全・管理を一層強化する必要がある。

・公園を「ほとんど利用していない」、「年に数回」の方が6割弱と公園の利用頻度はあまり高くない。どのような公園になれば利用したいかについて、駐車場や民間が運営する施設の整備等があげられており、利用したくなる公園を目指した施設整備や維持管理が必要である。

・市と市民が協働して実施すべき取組みについて、約4割の方が「公園、街路樹等の適切な維持管理」をあげており、行政・民間事業者・地域の橋渡し役となる中間支援組織の設置を検討する必要がある。

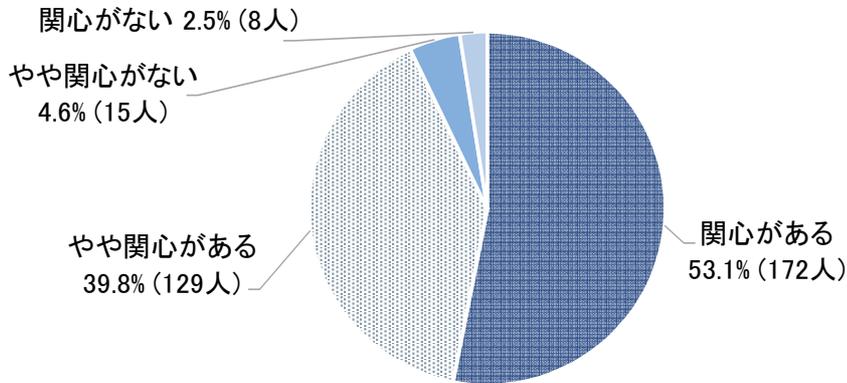
※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

※複数回答・自由回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答・自由回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。

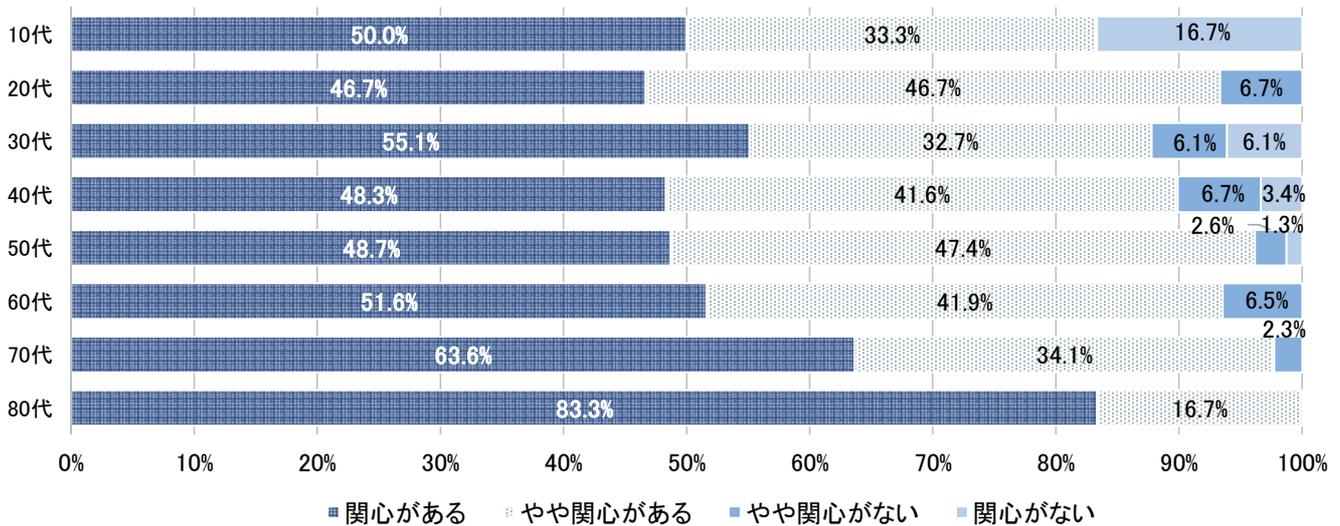
第1章 郡山市の緑の現状について

問1 緑に関心はありますか？（1つ選択）

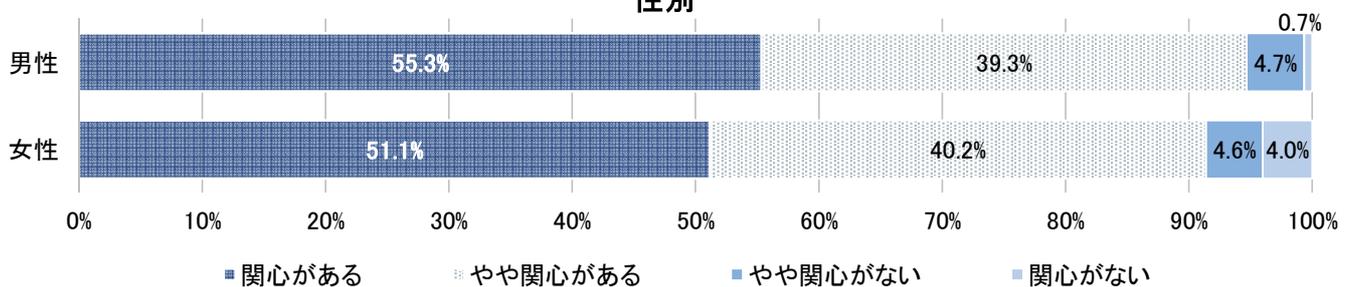
（回答者：324人）



年代別



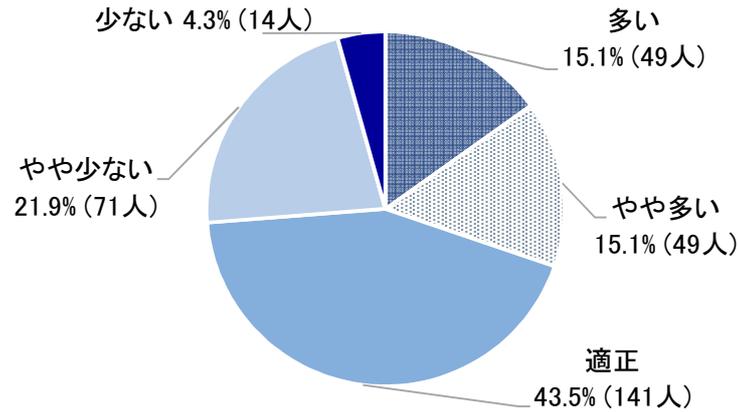
性別



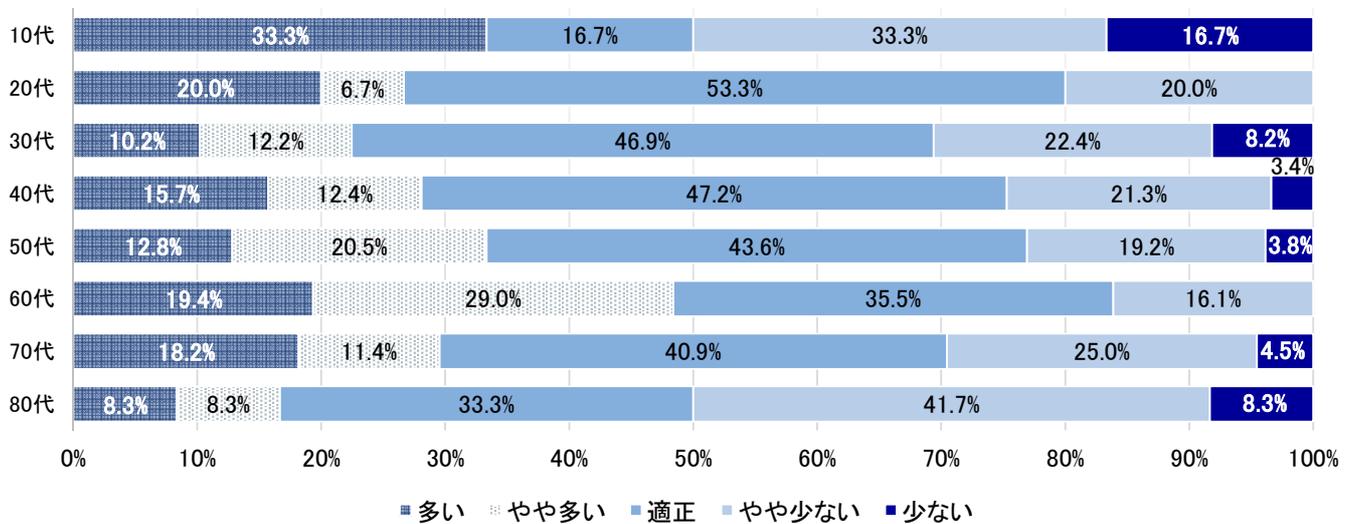
緑への関心について、「関心がある」と「やや関心がある」の合計は9割を超えており、関心は非常に高い。年代別では、20代と50代から80代は「関心がある」と「やや関心がある」の合計が9割を超えており、緑への関心が特に高いことが見受けられる。男女別では、大きな差異は見られない。

問2 お住まい（職場、学校含む）周辺の郡山市の緑の量について、どのように感じますか？
（1つ選択）

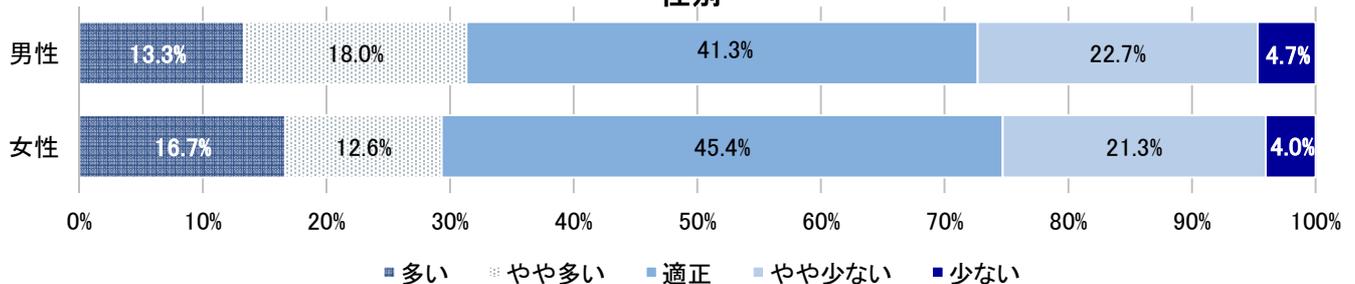
（回答者：324人）



年代別



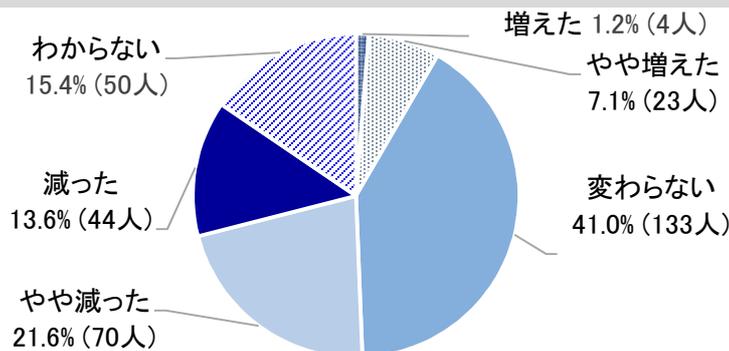
性別



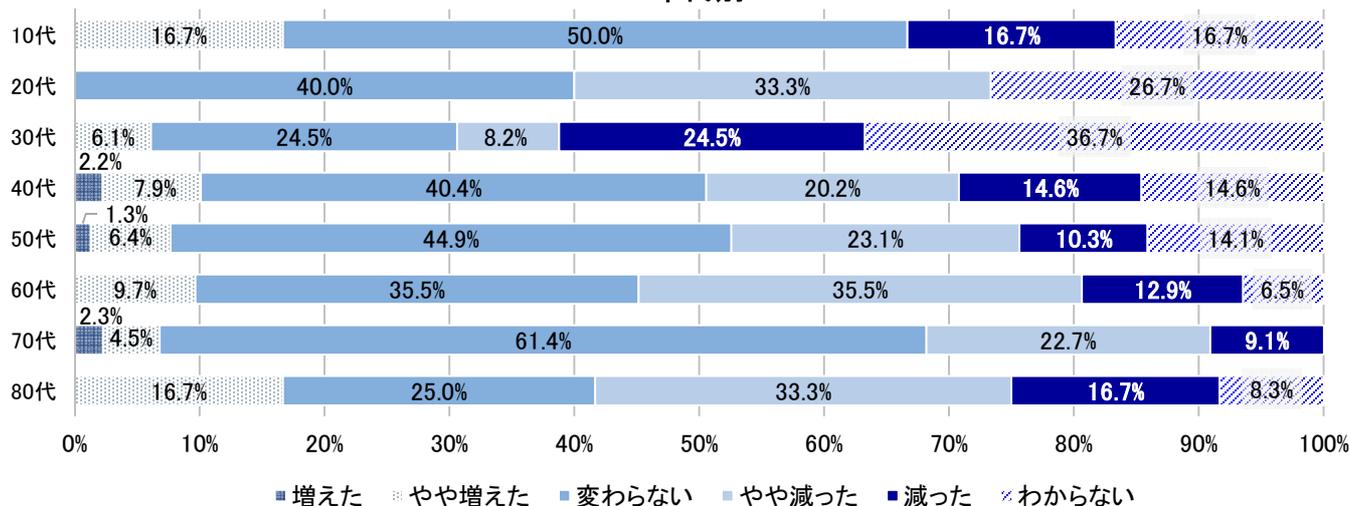
緑の量について、「適正」43.5%が最も多く、次いで「多い」、「やや多い」の合計が30.2%、「少ない」、「やや少ない」の合計が26.2%となっており、緑の量はおおむね満足されていると考えられる。
年代別では、60代、50代、70代の順に「多い」、「やや多い」の割合が高くなっている。
男女別では、大きな差異は見られない。

問3 10年前と比べて、郡山市の緑の量はどう変わりましたか？（1つ選択）

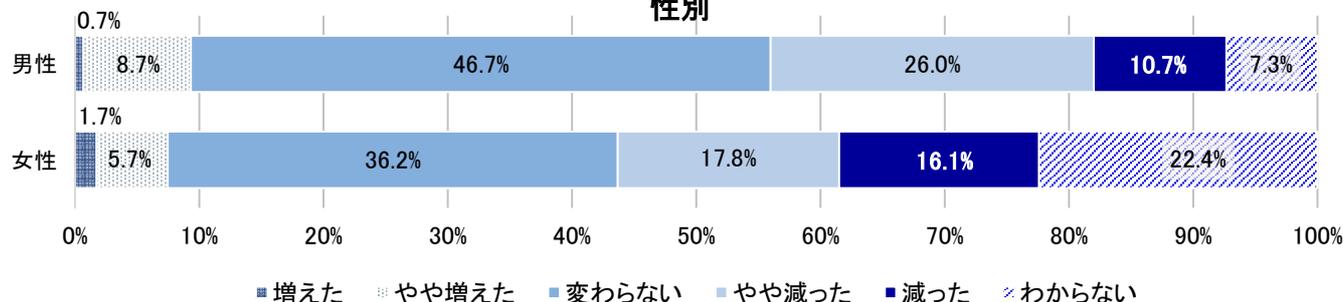
（回答者：324人）



年代別



性別



10年前の緑の量との比較について、「変わらない」41.0%が最も多く、次いで「減った」、「やや減った」の合計が35.2%、「増えた」、「やや増えた」の合計が8.3%となっており、現状の緑の量は相対的に減ったと感じられていることが見受けられる。

年代別では、80代、10代、40代の順に「増えた」、「やや増えた」の割合が高い一方、80代、60代、40代の順に「減った」、「やや減った」の割合が高い。

男女別では、女性と比べて男性の方が「変わらない」の回答が多い。また、女性は「わからない」の回答が多かった。

問4 特に緑が増えた、または減ったと感じる具体的な理由や場所はどこですか？

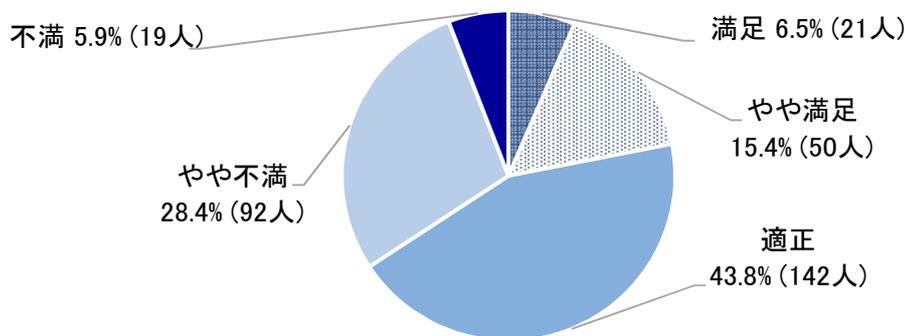
（回答者：111人）

緑が増えた場所としては、「公園」や「駅前」などの回答があり、緑が増えた理由としては、「公園・緑地が増えた」や「街路樹が増えた」などの回答が多く、都市的土地利用が図られる場所においては、緑が増えたと感じられていることが見受けられる。

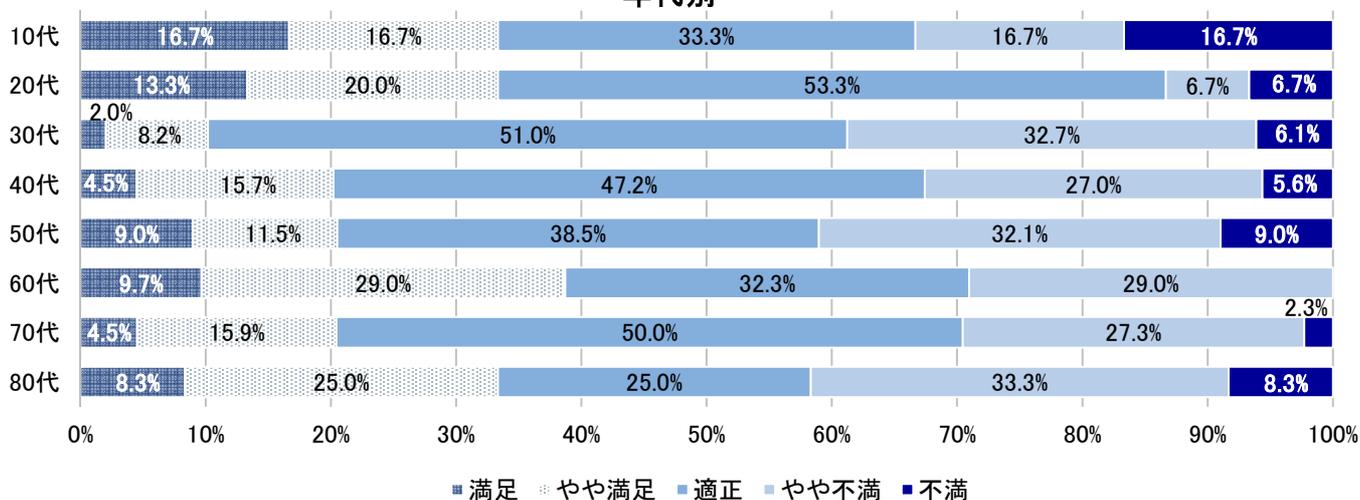
一方、緑が減った場所としては、「逢瀬川の桜」や「八山田地域」、「自宅周辺」などの回答があり、緑が減った理由としては、「建物が増えた」や「田畑が減った」、「街路樹が減った」との回答があった。自然的土地利用から都市的土地利用に転換された場所について、緑が減ったと感じていることが見受けられる。

問5 お住まい（職場、学校含む）周辺の郡山市の緑の質（※）について、満足していますか？（1つ選択）

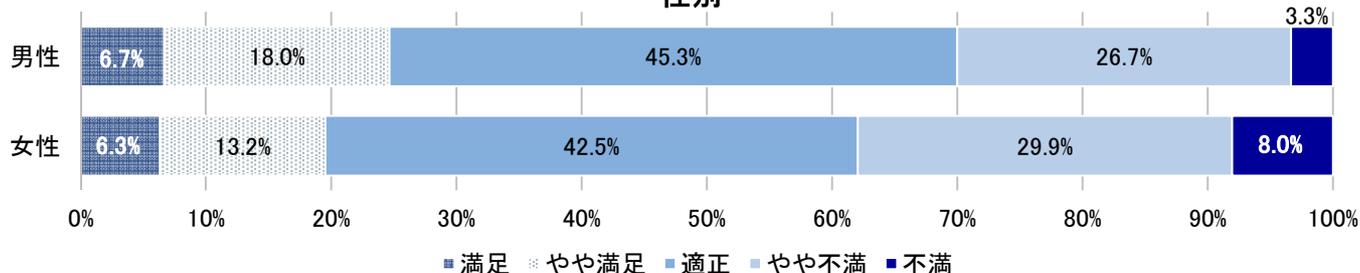
※「緑の質」とは、緑の量だけでなく、美しさや多様な役割（環境保全、防災、レクリエーション、景観等）などのことを示します。（回答者：324人）



年代別



性別



緑の質について、「適正」43.8%が最も多く、次いで「やや不満」、「不満」の合計が34.3%、「満足」、「やや満足」の合計が21.9%となっている。「適正」、「満足」、「やや満足」の合計が7割弱となっており、緑の質について、おおむね満足されていると考えられる。

年代別では、60代、10代、20代、80代の順に「満足」、「やや満足」の割合が高い。

男女別では、大きな差異は見られない。

問6 問5で「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」を選択した方に伺います。特に緑の質に満足、または不満に感じる具体的な理由や場所はどこですか？

（回答者：134人）

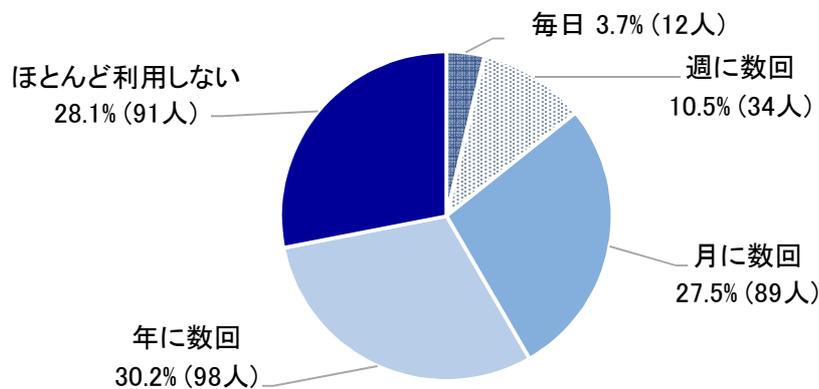
緑の質について満足に感じる場所としては、「近隣の公園・緑地」や「開成山公園」、満足に感じる理由としては、「公園や樹木等に手入れが行き届いている」や「近隣の緑の量が多い」などの回答であった。

緑の質について不満に感じる場所としては、「逢瀬川の桜」や「街路樹」があり、不満に感じる理由としては、「公園、河川や空き地、空き家等に手入れが行き届いていない」や「緑の量が不足している」などの回答があり、管理の状態が満足度に影響していることが考えられる。

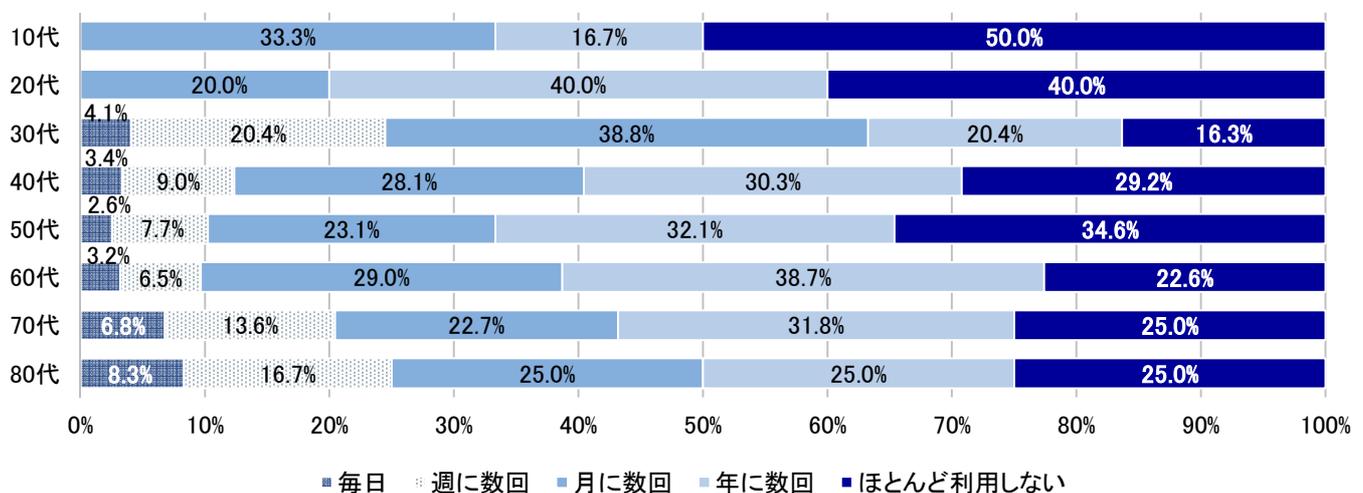
第2章 郡山市の公園について

問7 どの程度公園を利用しますか？（1つ選択）

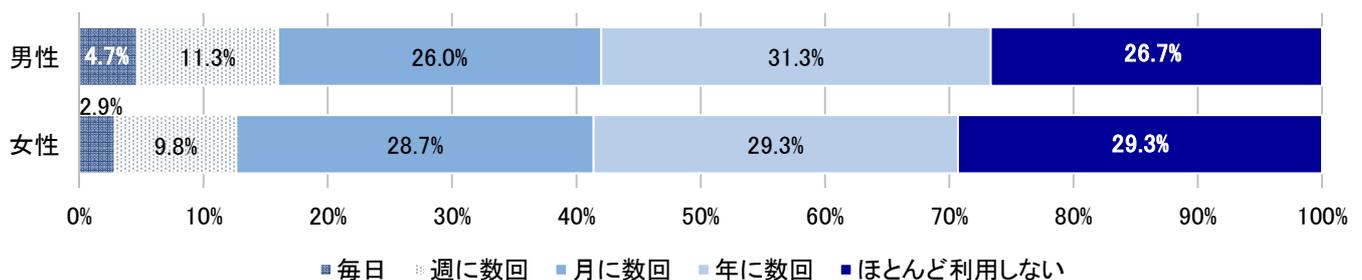
（回答者：324人）



年代別

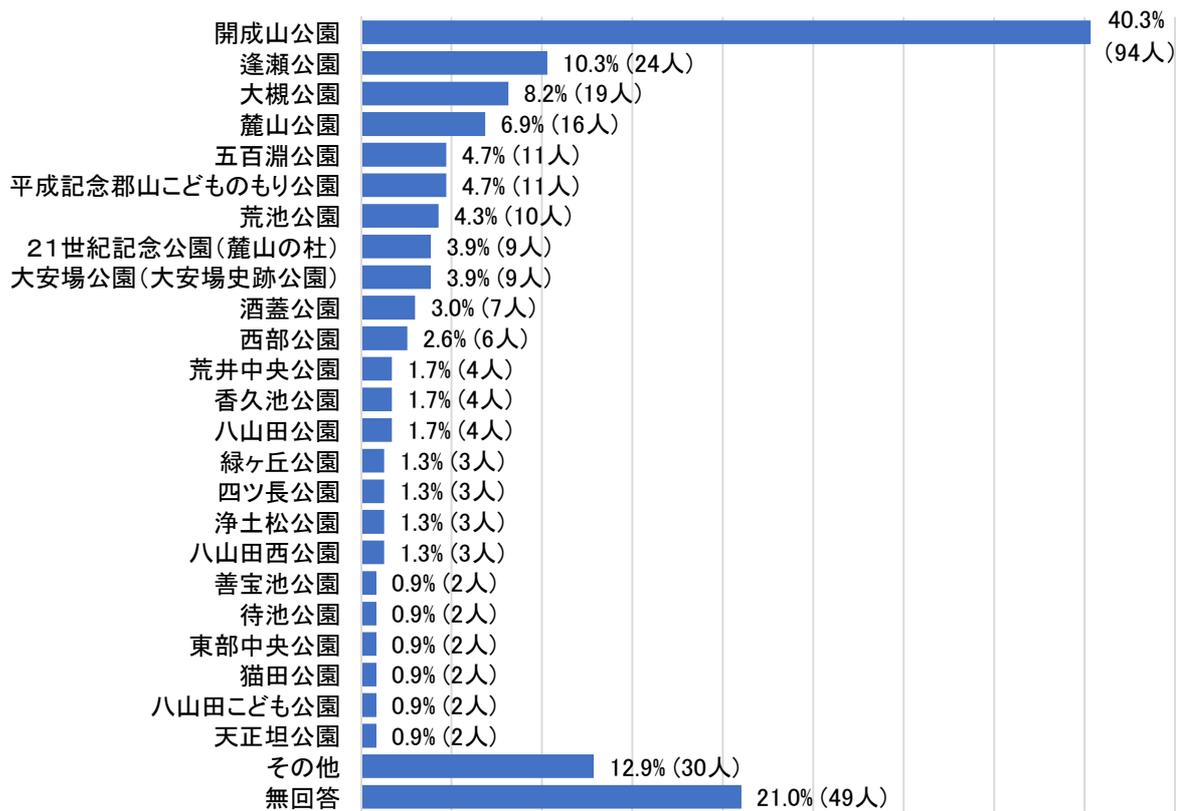


性別



公園の利用頻度について、「年に数回」30.2%が最も多く、次いで「ほとんど利用しない」28.1%、「月に数回」27.5%、「週に数回」10.5%、「毎日」3.7%となっており、公園の利用頻度はあまり高くない。
年代別では、80代、30代、70代の順に「週に数回」、「毎日」の割合が高く、10代、20代、50代の順に「ほとんど利用しない」の割合が高い。特に10代、20代の公園の利用頻度は非常に低い。
男女別では、大きな差異は見られない。

問8 問7で「毎日」「週に数回」「月に数回」「年に数回」を選択した方に伺います。利用する公園をお書きください。
(回答者：233人)

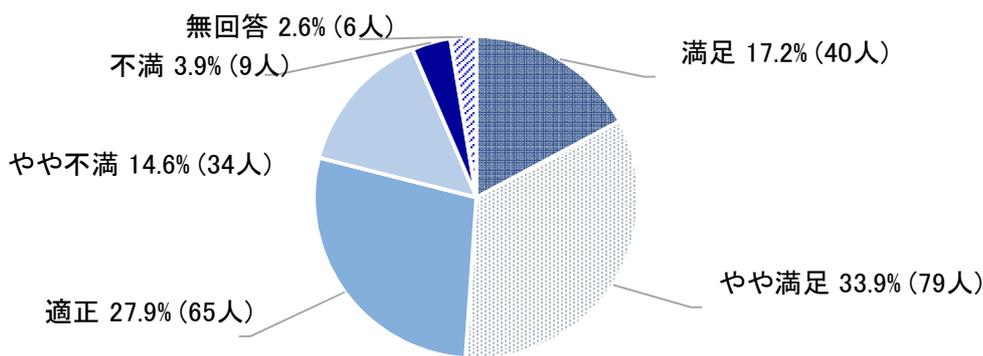


※「その他」を選択した方の主な意見

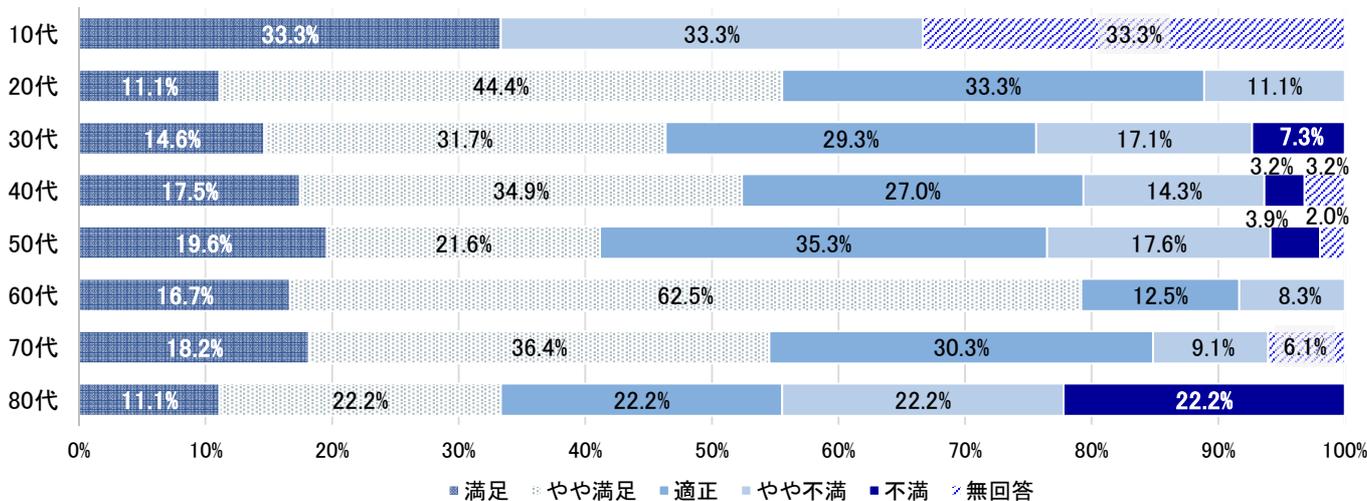
- ・近所の名前がわからない公園
- ・日によって違う

よく利用する公園の回答として、「開成山公園」40.3%が最も多く、次いで「逢瀬公園」10.3%、「大槻公園」8.2%、「麓山公園」6.9%、「五百淵公園」と「平成記念郡山こどものもり公園」が4.7%、「荒池公園」4.3%となっており、開成山公園が他の公園よりも多くの人に利用されている。

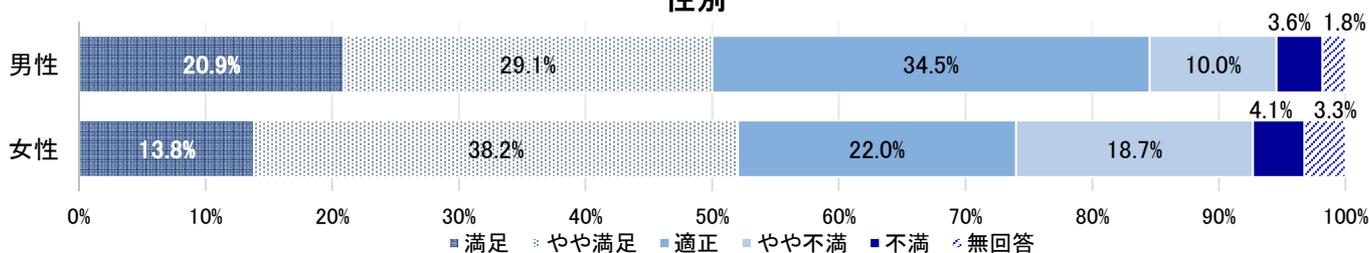
問9 問7で「毎日」「週に数回」「月に数回」「年に数回」を選択した方に伺います。利用する公園について、満足していますか？（1つ選択）
 （回答者：233人）



年代別

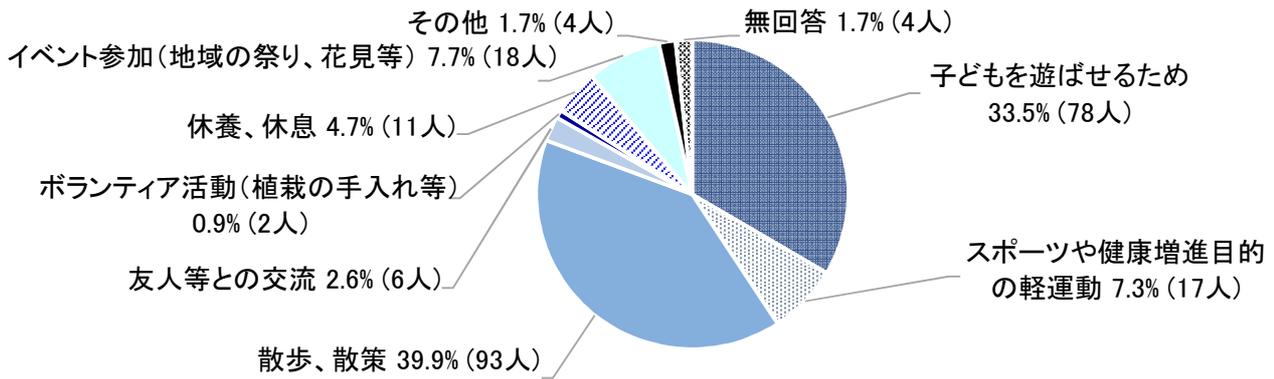


性別

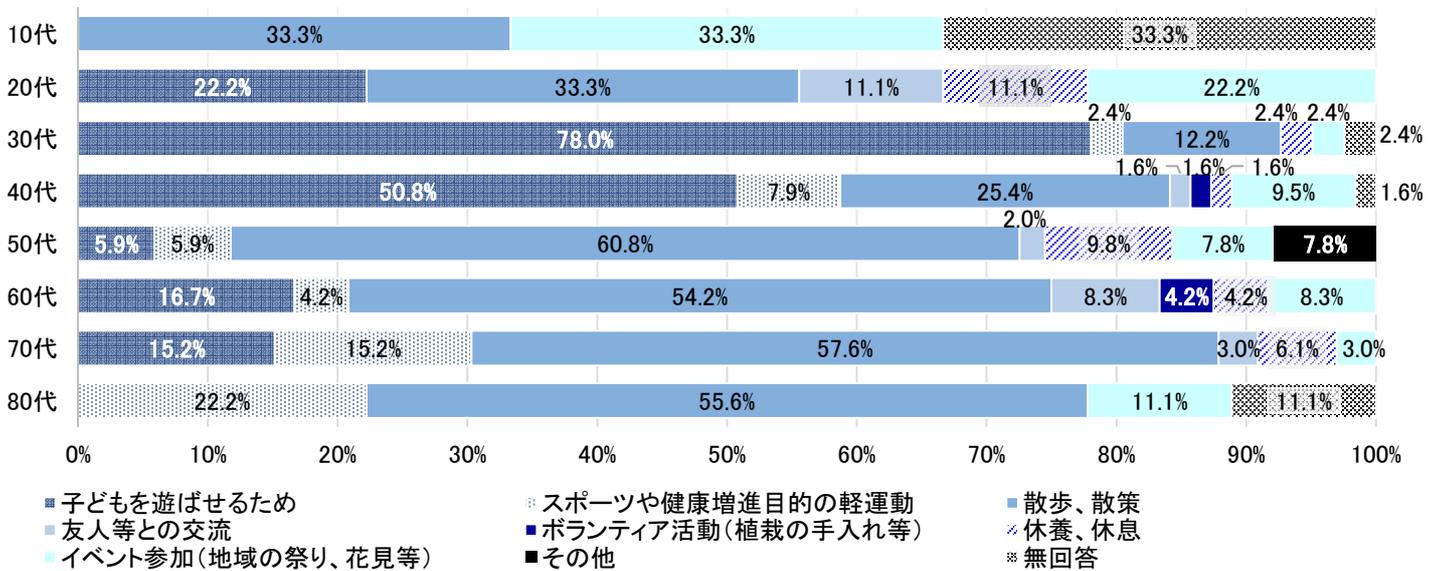


利用する公園の満足度について、「満足」、「やや満足」の合計が51.1%と最も多く、次いで「適正」27.9%、「やや不満」、「不満」の合計が18.5%となっており、「適正」、「満足」、「やや満足」の合計が約8割となっている。
 年代別では、60代、70代、20代の順に「満足」、「やや満足」の割合が高い。
 男女別では、男性と比べ女性の方が「やや満足」と回答した割合が高く、女性と比べ男性の方が「適正」と回答した割合が高い。

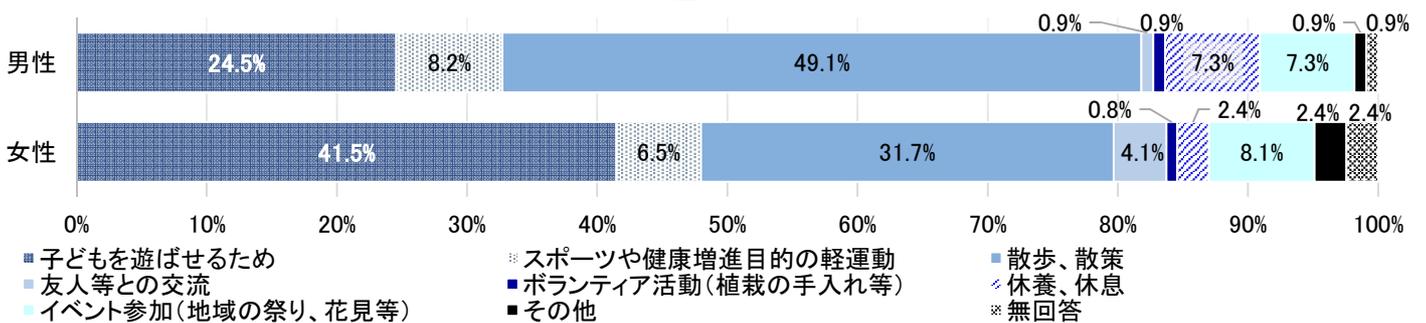
問10 問7で「毎日」「週に数回」「月に数回」「年に数回」を選択した方に伺います。利用する理由は何ですか？（1つ選択）
 （回答者：233人）



年代別

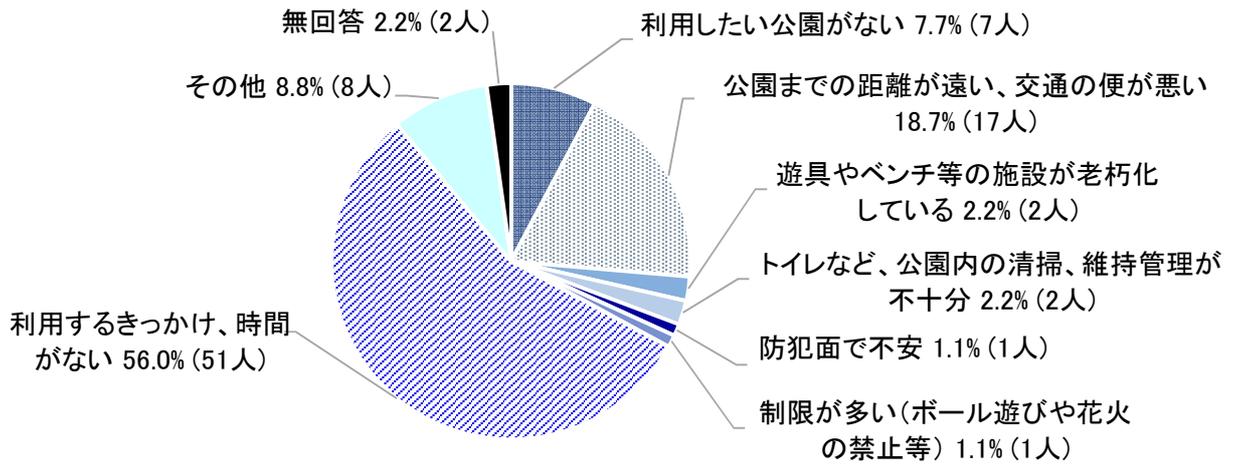


性別

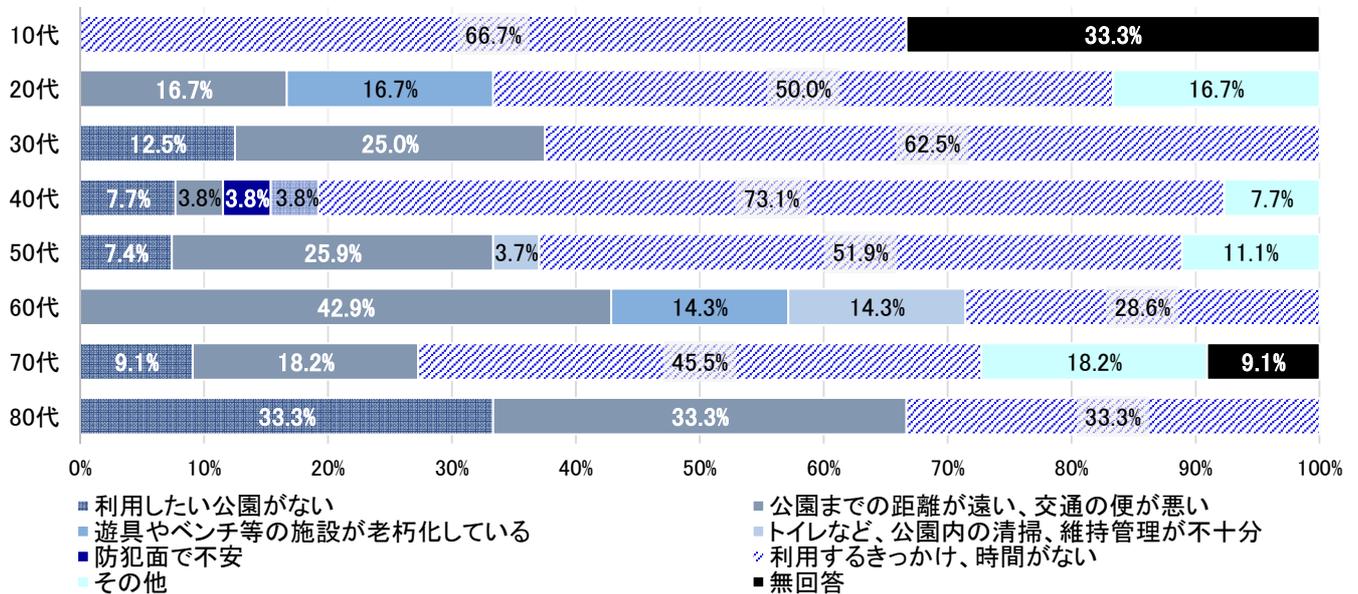


公園を利用する理由について、「散歩、散策」39.9%が最も多く、次いで「子どもを遊ばせるため」33.5%、「イベント参加」7.7%、「スポーツや健康増進目的の軽運動」7.3%、「休養、休息」4.7%となっている。
 年代別では、20代から40代は「子どもを遊ばせるため」の割合が高く、50代から80代は「散歩、散策」の割合が高くなっており、年代により主な利用目的が異なることが分かる。
 男女別では、男性と比べ女性の方が「子どもを遊ばせるため」の割合が高く、また、女性と比べ男性の方が「散歩、散策」の割合が高い。

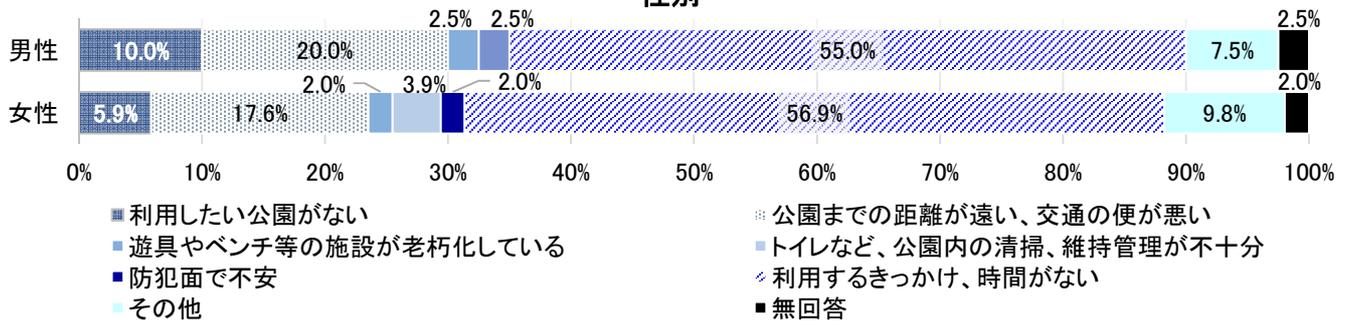
問11 問7で「ほとんど利用しない」を選択した方に伺います。利用しない理由は何ですか？（1つ選択）
（回答者：91人）



年代別

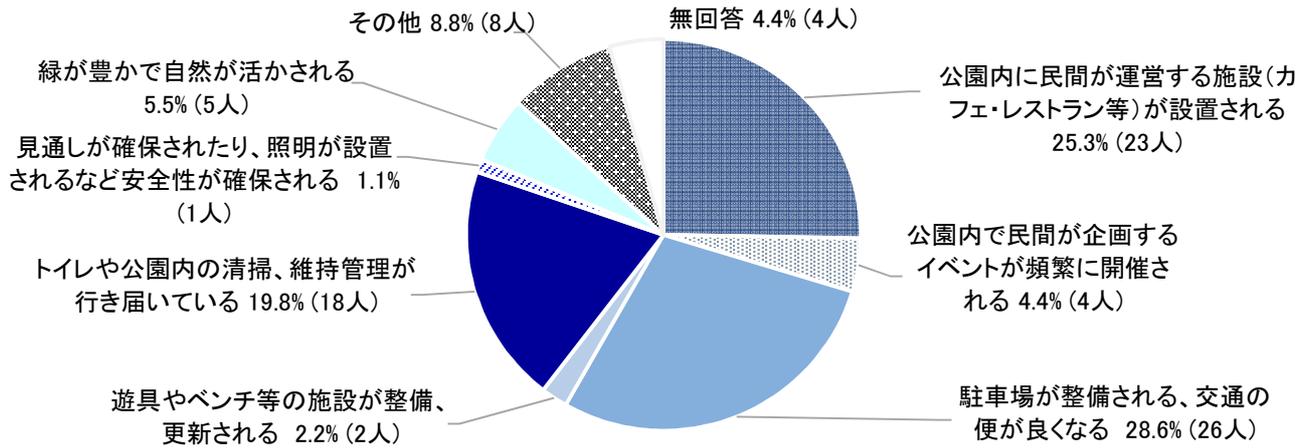


性別

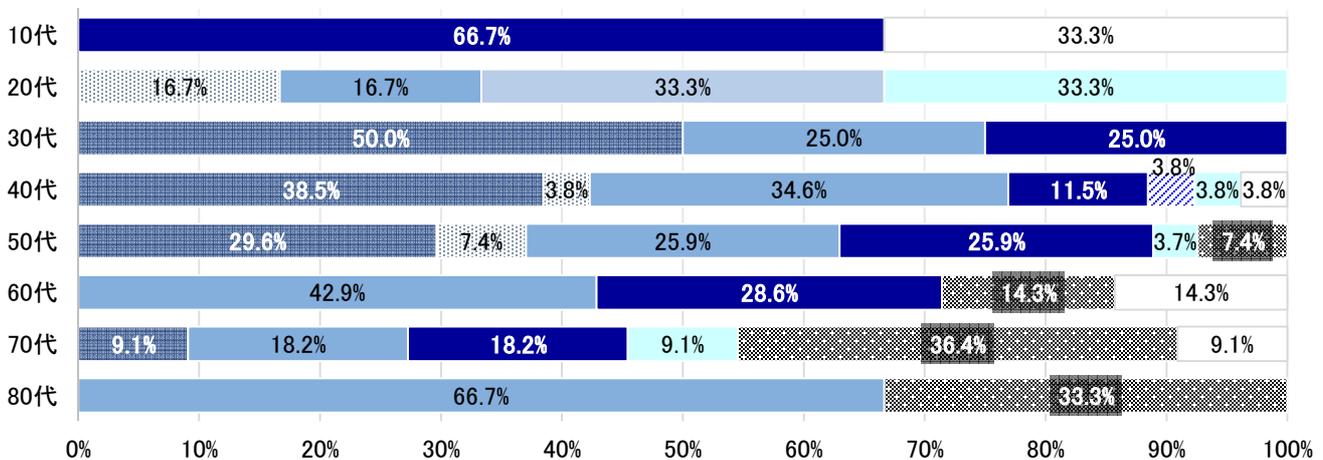


公園を利用しない理由について、「利用するきっかけ、時間がない」56.0%が最も多く、次いで「公園までの距離が遠い、交通の便が悪い」18.7%、「利用したい公園がない」7.7%となっている。
年代別では、どの年代でも「利用するきっかけ、時間がない」の割合が高い。
男女別では、大きな差異は見られない。

問12 問7で「ほとんど利用しない」を選択した方に伺います。どのような公園になれば利用したいと思いますか？（1つ選択）
（回答者：91人）

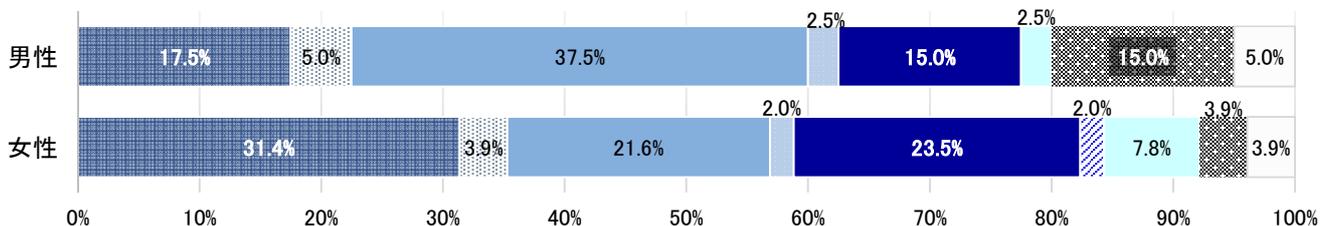


年代別



- 公園内に民間が運営する施設(カフェ・レストラン等)が設置される
- 駐車場が整備される、交通の便が良くなる
- トイレや公園内の清掃、維持管理が行き届いている
- 緑が豊かで自然が活かされる
- 無回答
- ※ 公園内で民間が企画するイベントが頻繁に開催される
- 遊具やベンチ等の施設が整備、更新される
- 見通しが確保されたり、照明が設置されるなど安全性が確保される
- ※ その他

性別



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・健常者だけが利用するわけではないので、歩行補助杖、歩行器や車いすでも利用しやすいように整備してほしい。
- ・歩いて行ける距離にできれば利用したい。

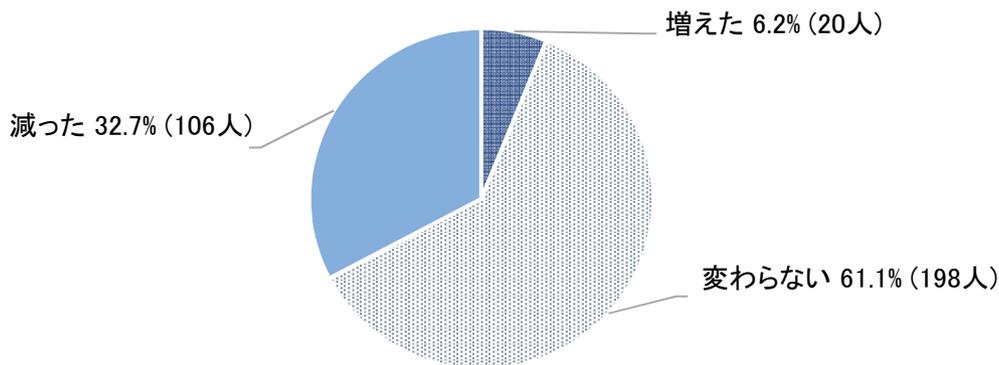
どのような公園になれば利用したいかについて、「駐車場が整備される、交通の便が良くなる」28.6%が最も多く、次いで「公園内に民間が運営する施設(カフェ・レストラン等)が設置される」25.3%、「トイレや公園内の清掃、維持管理が行き届いている」19.8%となっており、駐車場やカフェ・レストラン等の整備に加え、適切な維持管理により、利用者が増加すると考えられる。

年齢別では、30代から50代は「公園内に民間が運営する施設(カフェ・レストラン等)が設置される」の割合が高い。

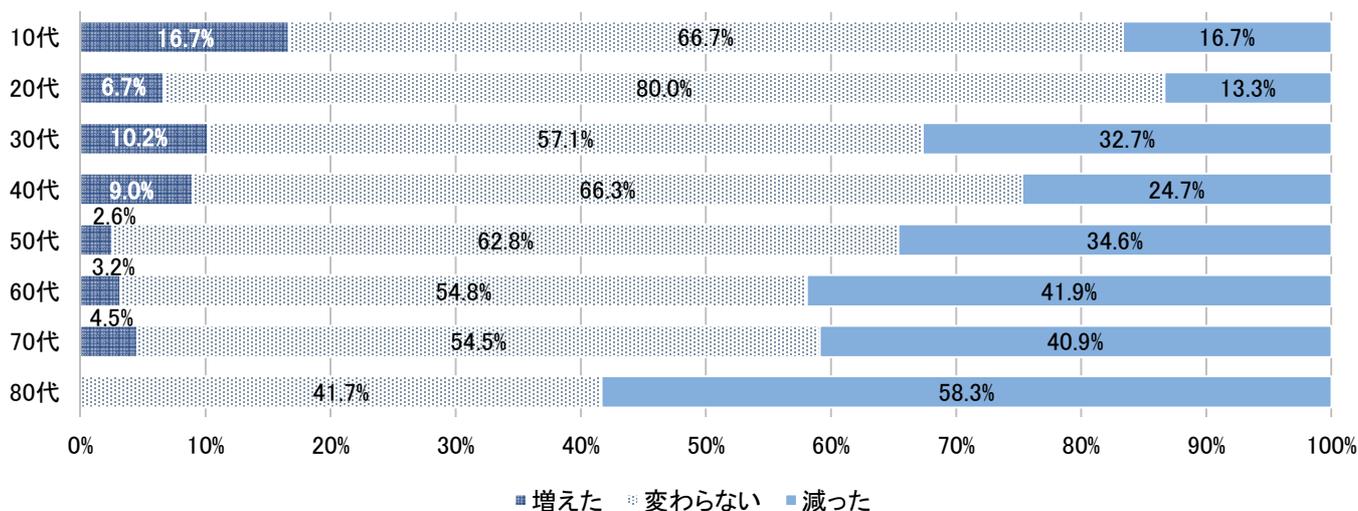
男女別では、男性の方が「駐車場が整備される、交通の便が良くなる」の割合が高く、また、女性の方が「公園内に民間が運営する施設(カフェ・レストラン等)が設置される」の割合が高い。

問13 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、公園の利用頻度はどうなりましたか？（1つ選択）

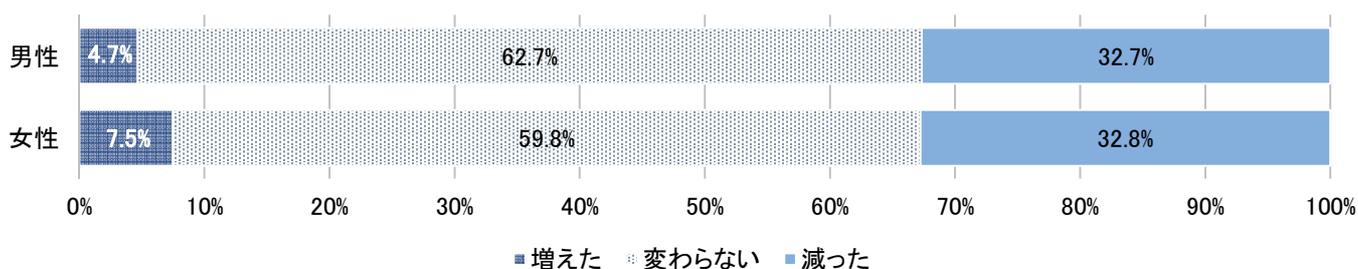
（回答者：324人）



年代別



性別



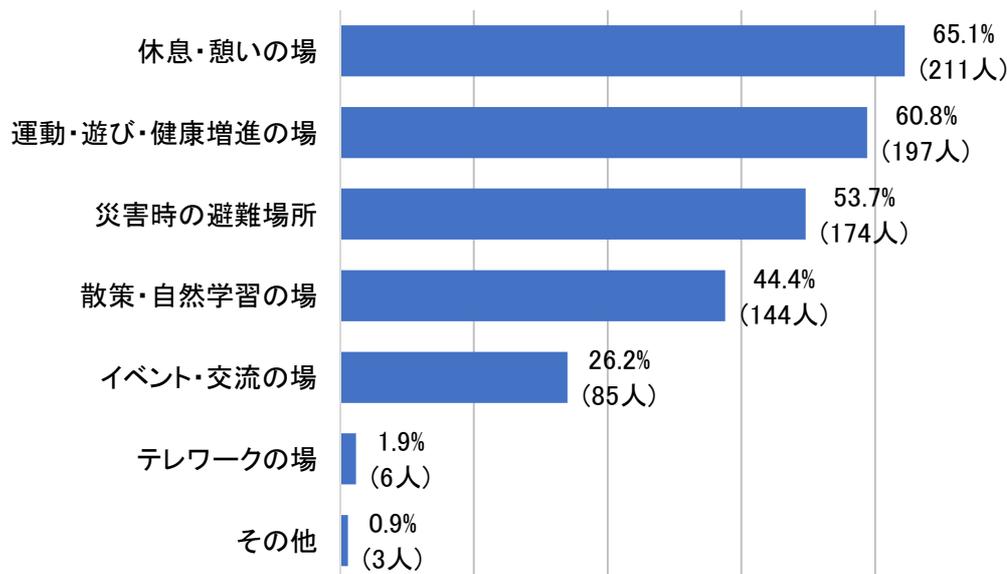
新型コロナウイルス感染拡大に伴う公園の利用頻度の変化について、「変わらない」61.1%が最も多く、次いで「減った」32.7%、「増えた」6.2%となっており、新型コロナウイルスの影響により、外出を自粛していた影響で利用頻度が減ったと考えられる。

年代別では、80代、60代、70代の順に「減った」の割合が高い。

男女別では、大きな差異は見られない。

問14 新型コロナウイルス感染症に対応した「新しい生活様式」を踏まえ、公園の役割、機能として何が重要と考えますか？（3つまで選択可）

（回答者：324人）

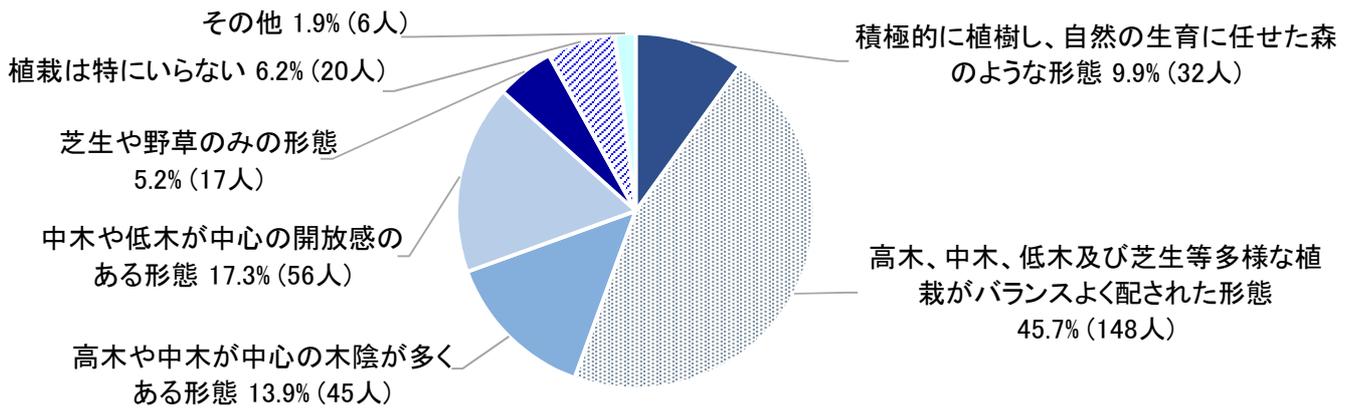


「新しい生活様式」を踏まえた重要な公園の役割、機能として、「休憩・憩いの場」65.1%が最も多く、次いで「運動・遊び・健康増進の場」60.8%、「災害時の避難場所」53.7%、「散策・自然学習の場」44.4%、「イベント・交流の場」26.2%となっている。

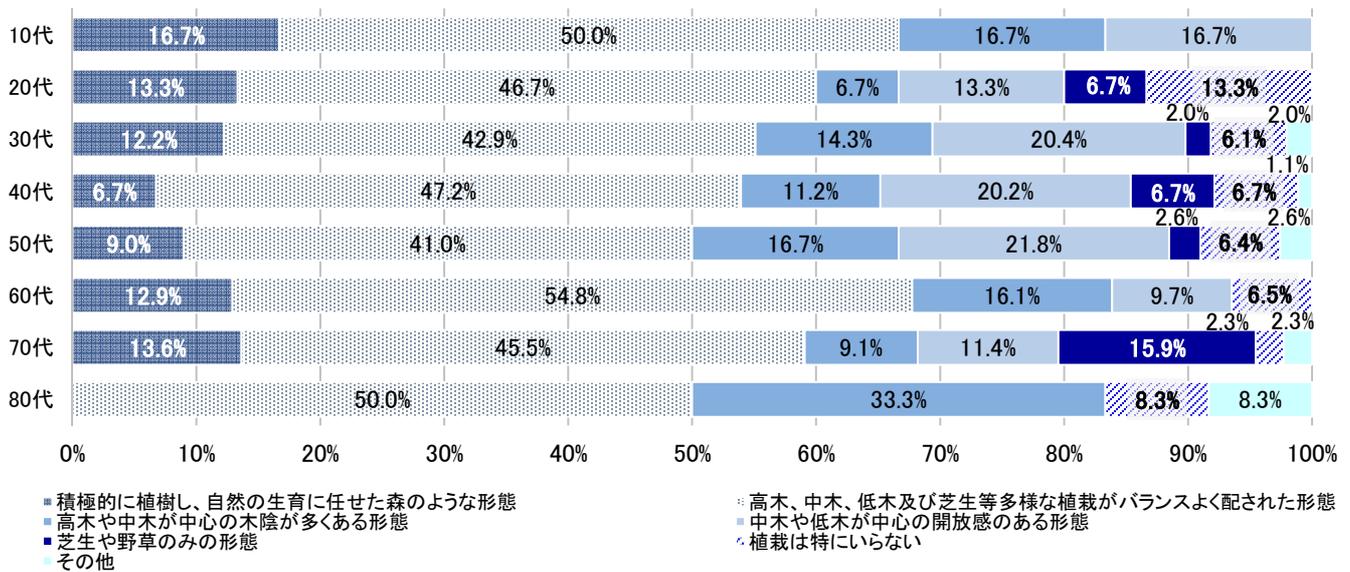
「休憩・憩いの場」、「運動・遊び・健康増進の場」、「災害時の避難場所」はそれぞれ回答者の半分以上が回答していることから、コロナ禍においても、特に重要視すべき役割・機能であると考えられる。

問15 公園の緑化について、どのような形態を望みますか？（1つ選択）

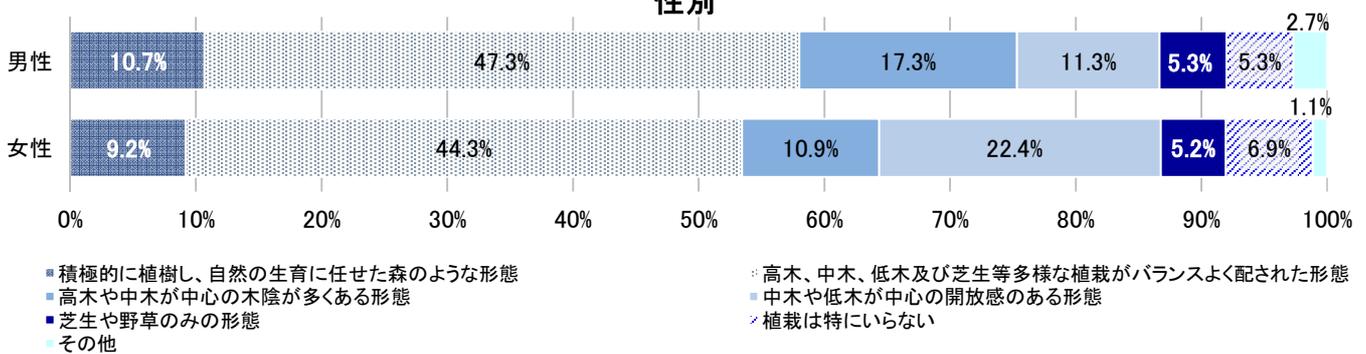
（回答者：324人）



年代別



性別



※「その他」を選択した方の主な意見

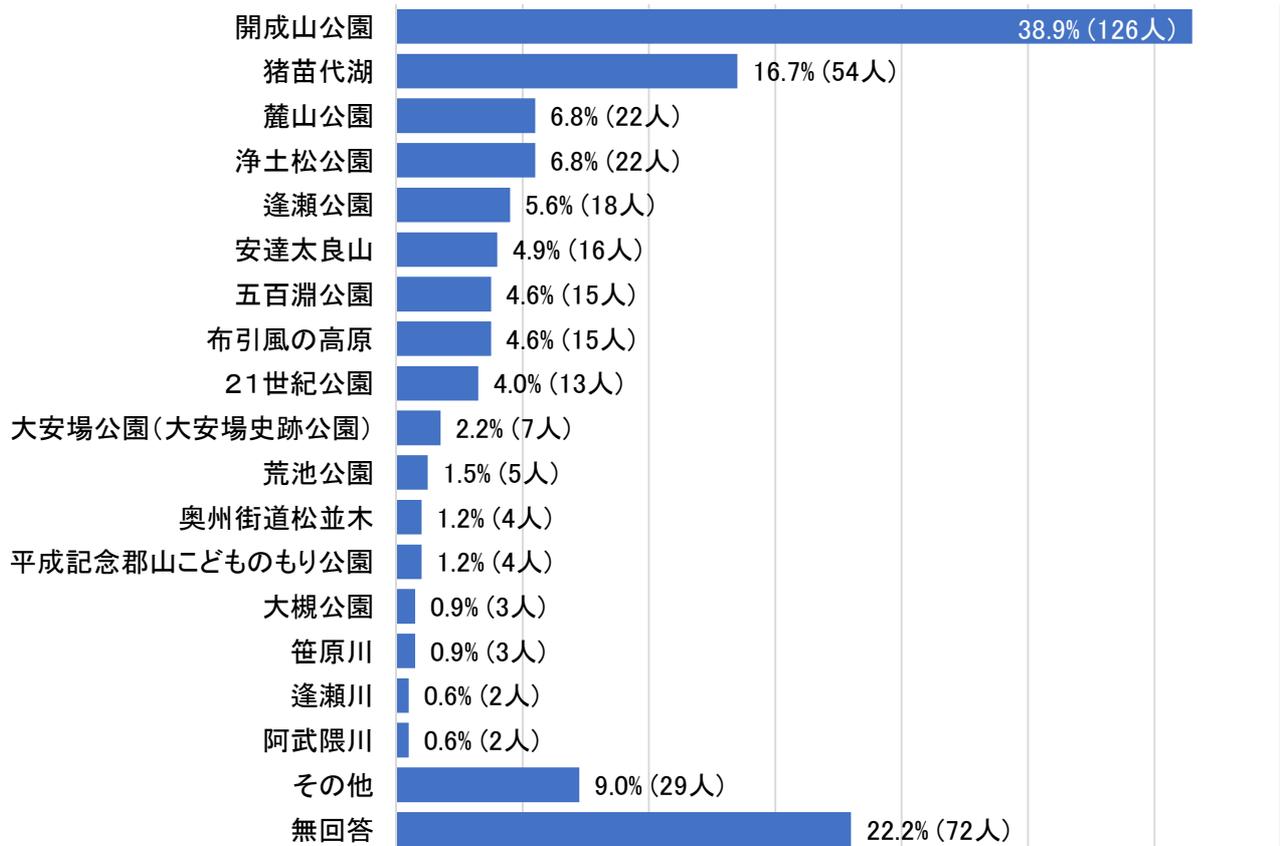
- ・できるだけ自然のままがよい。
- ・公園の立地や規模によって、特色があった方がよい。

公園の緑化について、「高木、中木、低木及び芝生等多様な植栽がバランスよく配された形態」45.7%が最も多く、次いで「中木や低木が中心の開放感のある形態」17.3%、「高木や中木が中心の木陰が多くある形態」13.9%となっている。「植栽は特にいない」の割合は6.2%と低い。
年代別では、80代で「高木、中木、低木及び芝生等多様な植栽がバランスよく配された形態」の割合が高い。男女別では、男性と比べ女性の方が「中木や低木が中心の開放感のある形態」の割合が高い。

問16 後世に残したい、誇りに思う緑はどこですか？（自由記述）

（例：開成山公園、21世紀記念公園、麓山公園、五百淵公園、善宝池公園、浄土松公園、奥州街道松並木、猪苗代湖、阿武隈川、逢瀬川、古川池周辺、布引風の高原、安達太良山など）

（回答者：324人）



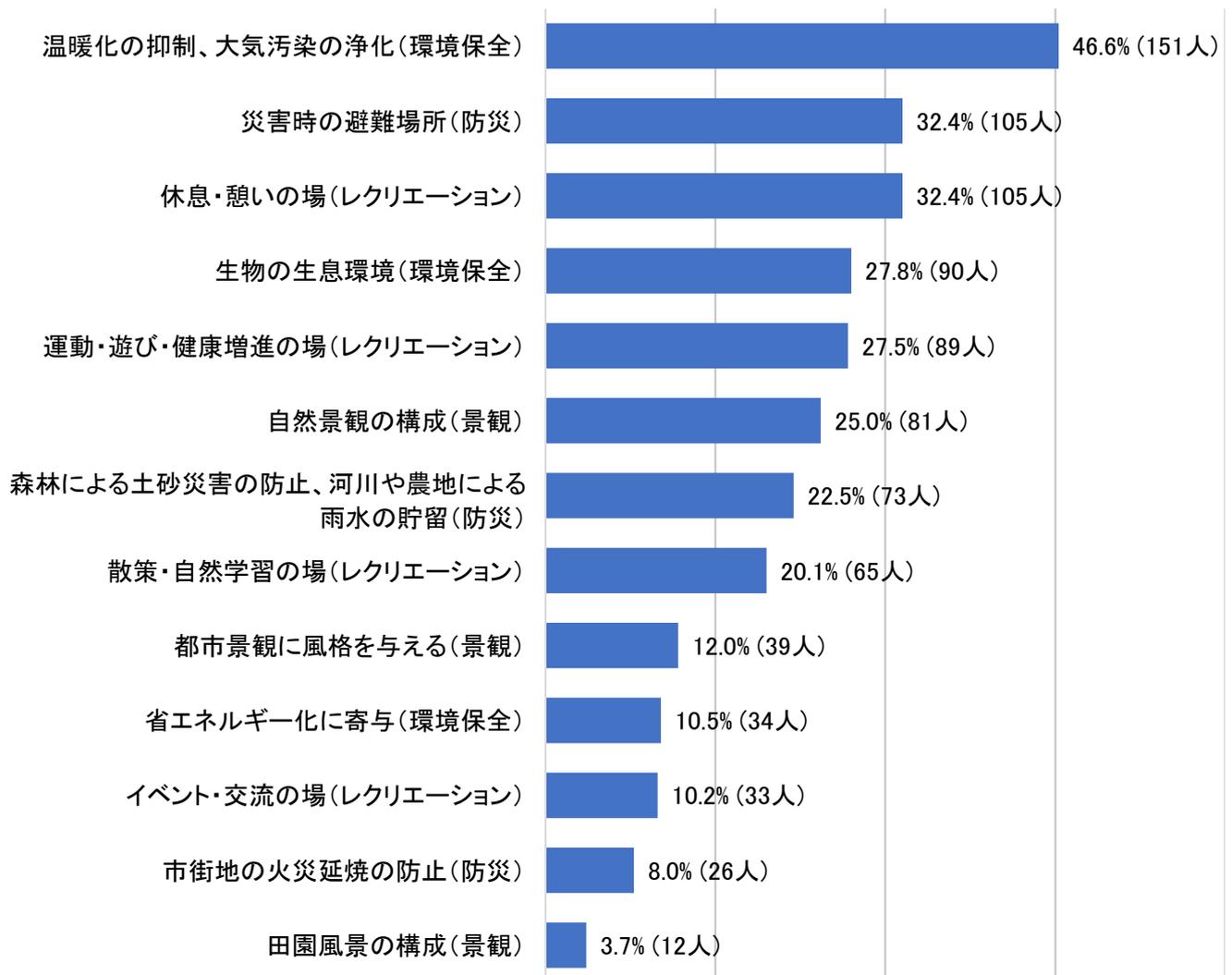
後世に残したい、誇りに思う緑として、「開成山公園」38.9%が最も多く、次いで「猪苗代湖」16.7%、「麓山公園」・「浄土松公園」6.8%、「逢瀬公園」5.6%となっている。「開成山公園」は、よく行く公園としても最も多く回答されており、市民にとって身近で後世に残したい場所として認識されている。

第3章 今後の緑の方針について

問17 郡山市の緑（グリーンインフラ含む）について、どのような機能が必要と考えますか？（3つまで選択可）

※「グリーンインフラ」とは、自然環境が有する多様な機能（生物の生息の場の提供、気温上昇の抑制、ゲリラ豪雨への対応等）を活用した、持続可能な地域づくりのことをいいます。

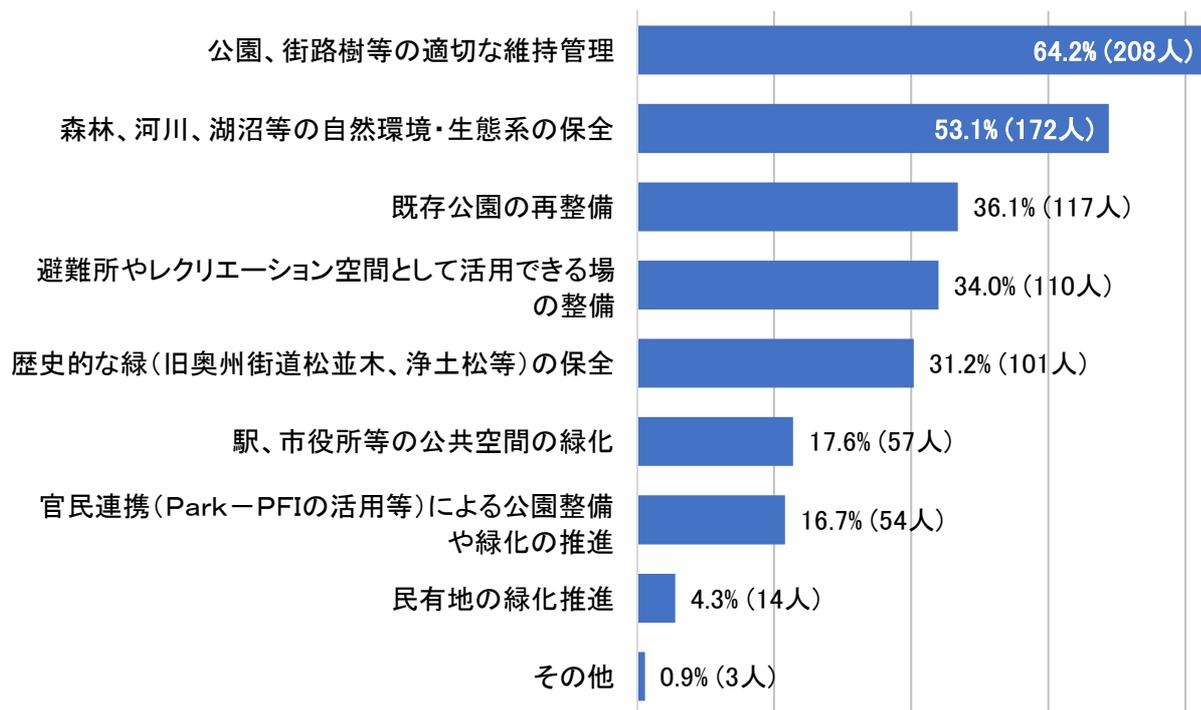
（回答者：324人）



緑の機能として、「温暖化の抑制、大気汚染の浄化（環境保全）」46.6%が最も多く、次いで「災害時の避難場所（防災）」・「休息・憩いの場（レクリエーション）」32.4%、「生物の生息環境（環境保全）」27.8%、「運動・遊び・健康増進の場（レクリエーション）」27.5%、「自然景観の構成（景観）」25.0%となっており、地球温暖化や近年多発する大規模自然災害への防災意識の高さがうかがえる。

問18 あなたは、市が主体となって実施する取組みとして、郡山市にどのような緑に関する取組みを望みますか？（3つまで選択可）

（回答者：324人）

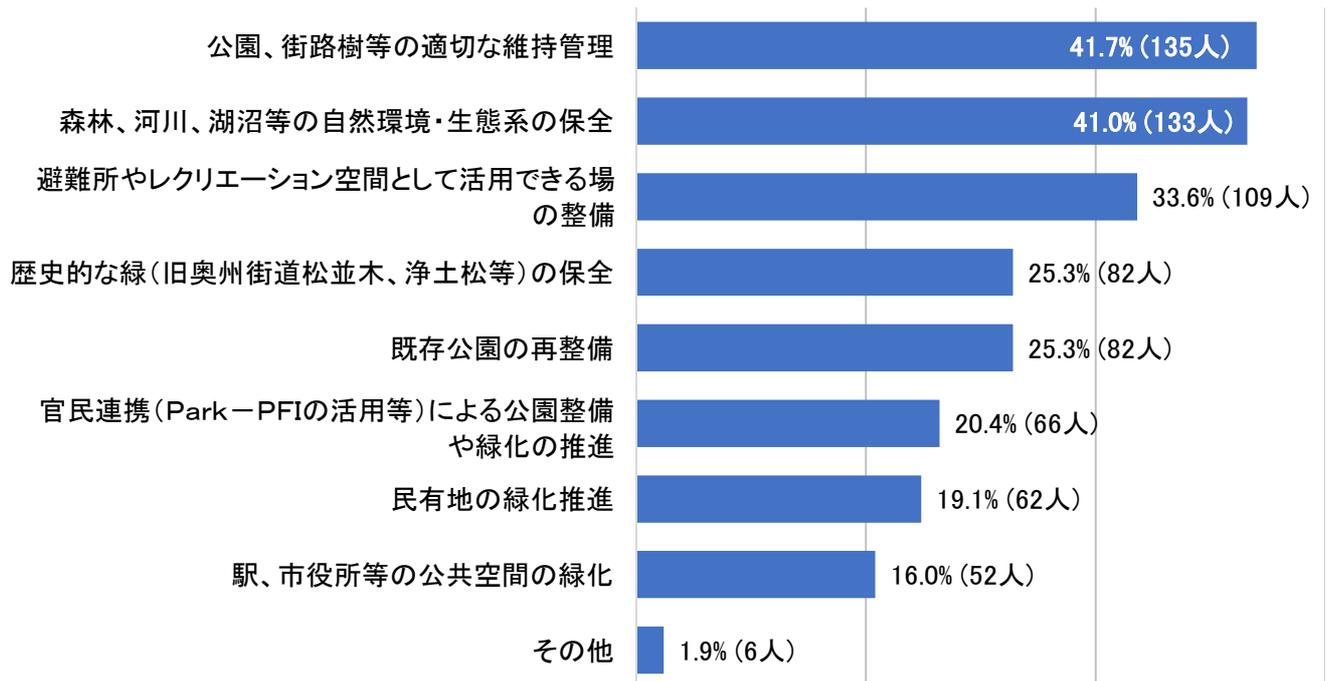


※「その他」を選択した方の主な意見

・緑に関する知識や美的センスを持ち合わせている、あるいは積極的に努力を惜しまない人材の育成を希望します。

市が主体となって実施する取組みについて、「公園、街路樹等の適切な維持管理」64.2%が最も多く、次いで「森林、河川、湖沼等の自然環境・生態系の保全」53.1%、「既存公園の再整備」36.1%、「避難所やレクリエーション空間として活用できる場の整備」34.0%、「歴史的な緑(旧奥州街道松並木、浄土松等)の保全」31.2%となっており、新たな公園等の整備よりも、既存施設の適切な維持管理や再整備が望まれていることがうかがえる。

問19 あなたは、市が主体となって実施している緑に関する取組みのうち、市だけでなく市民の皆さまと一緒に取り組んだらよいと思う取組みはどれですか？（3つまで選択可）
 （回答者：324人）



※「その他」を選択した方の主な意見

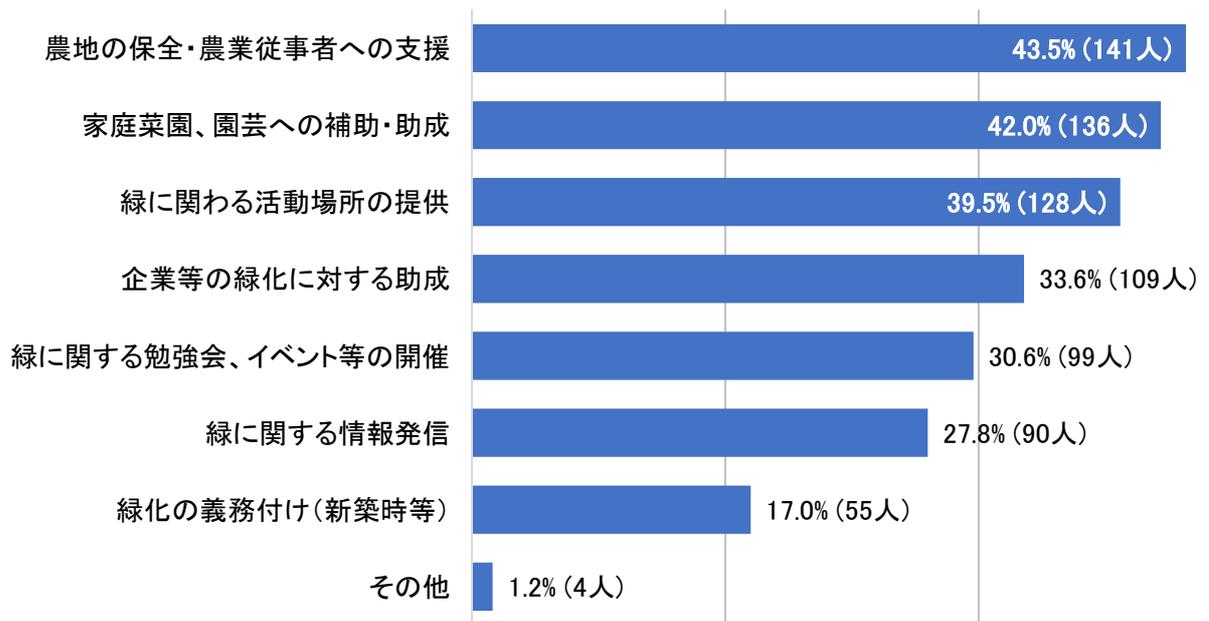
- ・公共施設の花壇づくり

市民と市が協働して実施すべき取組みについて、「公園、街路樹等の適切な維持管理」41.7%が最も多く、次いで「森林、河川、湖沼等の自然環境・生態系の保全」41.0%、「避難所やレクリエーション空間として活用できる場の整備」33.6%、「歴史的な緑(旧奥州街道松並木、浄土松等)の保全」・「既存公園の再整備」25.3%となっている。

問18で上位となった既存施設の適切な維持管理や自然環境・生態系の保全については、市民協働で取り組むべきとの意見が多い。

問20 あなたは、市民等による緑に関する取組みに対して、市が行う支援としてどの取組みがよいと思いますか？（3つまで選択可）

（回答者：324人）



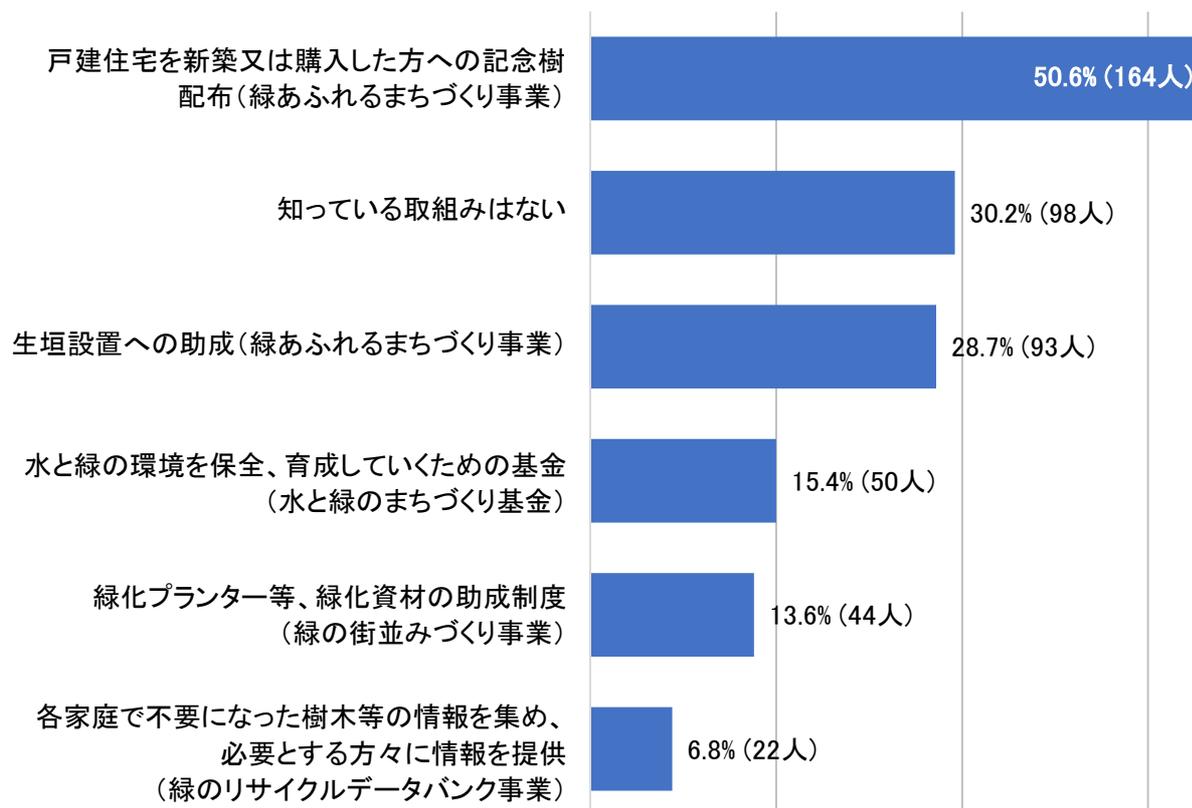
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・町内会等への積極支援

市民などへの支援策等について、「農地の保全・農業従事者への支援」43.5%が最も多く、次いで「家庭菜園、園芸への補助・助成」42.0%、「緑に関わる活動場所の提供」39.5%、「企業等の緑化に対する助成」33.6%、「緑に関する勉強会、イベント等の開催」30.6%、となっている。

問21 郡山市では、次のような緑化支援策を実施しています。このうち、あなたをご存知の支援策はありますか？（複数選択可）

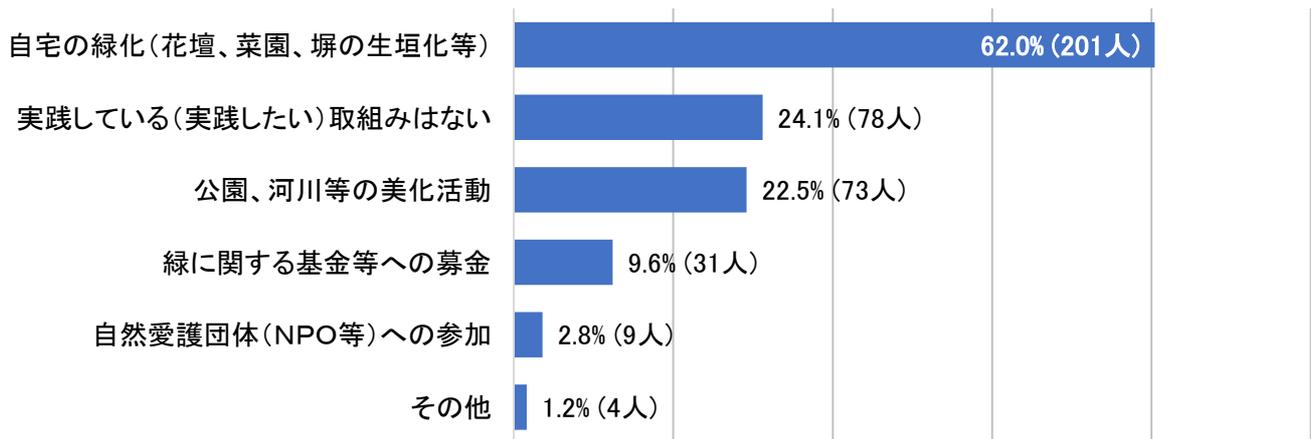
(回答者：324人)



市が実施する緑化支援策の知名度について、「戸建住宅を新築又は購入した方への記念樹配布(緑あふれるまちづくり事業)」50.6%が最も多く、次いで「知っている取組みはない」30.2%、「生垣設置への助成(緑あふれるまちづくり事業)」28.7%、「水と緑の環境を保全、育成していくための基金(水と緑のまちづくり基金)」15.4%となっており、取組みを知らない方も多く、更なる周知が必要と考えられる。

問22 現在あなたが実践している（または、今後実践したい）緑に関する取組みはありますか？
（複数選択可）

（回答者：324人）



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・町内清掃での草刈り
- ・自然に関する情報収集

実践している（または、今後実践したい）緑に関する取組みについて、「自宅の緑化（花壇、菜園、塀の生垣化等）」62.0%が最も多く、次いで「実践している（実践したい）取組みはない」24.1%、「公園、河川等の美化活動」22.5%、「緑に関する基金等への募金」9.6%となっている。美化活動などよりも、自宅の緑化への関心が高いことから、緑に関心を持ってもらうきっかけとして身近な緑に関する支援策の検討が必要であると考えられる。

また、問19では市民協働で実施したい取組みとして41.7%の方が「公園、街路樹等の適切な維持管理」を選択しているのに対し、「公園、河川等の美化活動」を実践している（実践したい）方は22.5%にとどまっていることから、市民が美化活動に参加しやすい仕組みづくりが必要である。

問23 緑の施策について、ご意見やアイデアがあれば、ご自由にお書きください。

(回答者：86人)

緑の維持管理について

【公園】

公園の特性を生かした維持管理を望む。例えば浄土松公園は適正な伐採管理がなされていないため、奇岩の特徴が隠れている。単なる雑木林と化している。(70代・男性)

公園樹木があるのは良いが、造成や維持に多額の費用がかかると思うので、最低限で良いと思います。(40代・男性)

公園の管理を近隣住民に依頼しているが、荒れた公園や老朽化して閉鎖している公園も多い。市も適切に見廻りを行ってほしい。(60代・男性)

五百淵や開成山公園など自然を感じられる公園の維持を期待しています。(40代・女性)

【街路樹・道路等】

郡山市は高木が多い感じがする。街路樹はもっと低木にし、交通を妨げないようにしてほしいです。(70代・男性)

時期に関係なく剪定が行われているので、花木の花が見られない。樹種に合った適切な時期に剪定してほしい。(70代・男性)

緑の整備について

【公園】

年配の母を連れて開成山公園等の大きな公園に連れて行きたいのですが、駐車場がなかったり、あっても駐車台数が少ないです。(50代・女性)

公園内に屋根付きの休憩所やベンチが少ないと感じます。増やすことで真夏や天気が悪い時の休憩所として、もっと活用できるのではないかと思います。(40代・女性)

各公園内に、きれいなトイレをもっと設置してほしいです。(70代・男性)

市管理の公園を減らし、各家庭で緑化を勧めることを推奨した方がいいと思う。(50代・女性)

【街路樹・道路等】

街中への植樹を希望します。他の都市に比べて郡山市は緑が少ないと感じています。(50代・男性)

小学校、中学校のグラウンドを芝生化してほしい。(70代・男性)

市民参加について

【ボランティア】

個人で取り組むのはなかなか難しいので、会社などで取り組みたい。(50代・女性)

近所の公園など町内会で除草活動すれば、きれいな公園が保てるように思います。(40代・女性)

【イベント・コミュニティ】

郡山市は街路樹や学校周辺の花壇などが豊かで素晴らしいと感じています。それらを管理する人々がいることをもっと教育してほしいことと、植えたり管理したりする時間を地域で共有するコミュニティも盛んになったら良いと思います。(30代・女性)

コロナ禍の今、緑地は心身共に癒されます。また、馴染みの方とも、アイコンタクトで、挨拶できます。身近に出来る健康作り、そして、交流の場としても重要だと思います。(50代・男性)

子どもが生き物が好きなので、市内の公園へ行っては生き物探しをしています。子どもでもできる緑化活動があれば参加してみたいです。(30代・女性)

子供達と高齢者の方が一緒に取り組む寄せ植えなどのイベント(50代・女性)

市の緑化支援制度について

【既存制度の周知】

戸建て購入時の記念樹は、植樹後の維持管理が大変そうなので受け取りませんでした。苗木だけでなくお花や野菜の苗などの選択肢もあると良いと思います。(30代・女性)

戸建て住宅の記念樹配布は受け取りを拒否したが、受け取りを希望した人はいるのか？受け取り率を算出したうえで、不要な助成や事業は廃止すべき。市民の要望を踏まえ、CO2排出は世界がすべき緊急事態。緑化はすすんで取り組むべき。(50代・男性)

緑化増進運動のPRが不足している。(80代・男性)

【新制度の要望】

1. 町内会などへの苗木などの配布

町内会や企業に、緑の苗など希望を募り、維持管理込みで植えてもらう。

2. 工事での緑取り入れ

新規や既存の道路工事を行う際に、あまり太くならず落ち葉のでない立木を一定間隔に植えるよう、市道工事を発注する際に考慮し、駅前などの街中の歩道の工事でも植樹を含めて工事の許可をする。

3. キャッチコピーの募集

福島県の「森にしずむ都市」のようなキャッチコピーを募集して、市内外に緑に取り組む意識の高さを周知する。(40代・女性)

近年、市街地の高層化でヒートアイランド現象が発生しています。その為、都会の中心並みに真夏の暑さが顕著です。屋上緑化を推進させる施策を実施して欲しいです。(50代・男性)

市の方針について

【市の方針】

農業をする人が高齢になり、田んぼや畑が荒地になっている場所も増えてきたように感じます。農地保全、農業活動PR、農業従事者支援活動などが必要だと思います。(30代・女性)

これからまちなかの再開発なども増えていくと思うので、そういった場合、義務化としての緑化以上に、取り組む企業や団体に何か税の減免などの施策があれば、より緑豊かな街なかの創出になるのではないかと思います。(40代・男性)

緑のあり方について

【緑のあり方】

リスクを考慮した緑化が必要だと思います。植えたのは良いが、管理が行き届かなかったり、ムクドリなどの糞害が起きたのでは本末転倒です。

基本的には街路樹は不要かと思っています。管理が原因で渋滞や事故にもなりかねません。その分、町中に点在する小さな公園も含めた緑化&整備を進めて頂きたいです。(30代・男性)

緑を増やすと、落葉や鳥害の問題が出てきます。落葉を低コストで処理する方法、低コストの鳥害対策も含めて計画する必要があります。(30代・男性)

街中の空き地を緑の公園として活用して欲しいです。そうすれば、空き地もなくなるし、街を歩いている時の休憩場所にもなります。管理は、地域の団体に委託するのが良いと思います。(60代・男性)

その他

開成山公園をよく利用しますが、きれいに緑を残していただき、ありがとうございます。これからも、ぜひ利用したいと思います。(30代・女性)

郡山市は市街地の中にも広い公園があり、車で数十分で山や川や湖にアクセスできる、自然豊かな街です。市内上空を野生の白鳥が飛ぶなど、東京育ちの者にとっては驚きの環境です。地元の方々はこの豊かな環境の希少さを実感していないかもしれませんが、地域の魅力特性として、街と緑の融合をもっとアピールしてもよいのではと感じます。(50代・女性)